

ヒグマワーキンググループの経過報告等

1. 令和4年度ヒグマWGの開催概要

- ・第1回会議 令和4年(2022年)8月3日(水) 羅臼町コミュニティセンター
WG開催の前日、8月2日(火) 午後に現地視察を実施

2. 主な議事内容

WGでは「第2期知床半島ヒグマ管理計画」の年次計画となる「令和4年度知床半島ヒグマ管理計画アクションプラン(案)」の内容を中心に議論しました。主な意見・指摘事項は以下のとおりです。

2022(令和4)年度 知床半島ヒグマ管理計画アクションプラン(案)について

【WGでの主な意見・指摘事項】

- ・第1期ヒグマ管理計画時のアクションプランに比べて一部方策の目標が下げられているが、必要性が高いものは目標を下げるのではなく達成するための具体的方策を検討すべき、との意見がありました。

【科学委員会での主な意見・指摘事項】

- ・特に意見はありませんでした。

DNAによる調査の継続について

【WGでの主な意見・指摘事項】

- ・人為死亡個体及び出没個体の遺伝子試料のDNA解析に基づく個体識別は、ヒグマの適正管理に欠かせない情報であるため、毎年継続的な実施が必要なため、関係機関の協働を求める、との意見がありました。

【科学委員会での主な意見・指摘事項】

- ・現地調査や現場対応の過程でDNAを含む多様な試料が蓄積されていくことが重要であるとの意見がありました。

その他

【WGでの主な意見・指摘事項】

- ・知床五湖やカムイワッカ方面に関するマイカー規制等のアクセスコントロールについて、ヒグマとの危険事例を減らすという観点から、実施時期や期間も含めた提案・進言をヒグマWGから発信してはどうか、との意見がありました。

【科学委員会での主な意見・指摘事項】

- ・上記について、ヒグマWGと適正利用・エコツーリズムWGの共同で協議していくことが必要、との意見がありました。

3. 令和4年度ヒグマWGに関する今後の予定

第2回ヒグマWG

令和4年(2022年)12月15日(予定)

以上